



童謡はときを超えて

- 南部町出身の音楽家 足羽章氏の世界 -

町立図書館では、童謡「ねこふんじゃった」を世に広めた人物として有名な、南部町出身の音楽家 足羽章氏の企画展を開催します。

鳥取のわらべ館所蔵の資料で、足羽氏の生涯と携わった童謡作品を紹介します。また、併せてコンサートも開催しますので、みなさんお誘いあわせのうえご来場ください。

■会期／4月11日(金)～4月20日(日) ※4月14日(月)は休館になります

■会場／南部町立図書館 本館2階

●ねこふんじゃった♪コンサート開催

みんなが知っている（そして弾ける？）足羽章氏の代表作

「ねこふんじゃった」にちなんだコンサートを開催します。どんなゲストが登場するのかおたのしみに！



■日時／4月19日(土)

午後2時から

■会場／南部町立図書館

本館2階

●なつかしの本展示



企画展の会期中、町立図書館が所蔵している、大正から昭和初期のなつかしい本の数々を展示します

●足羽章氏の略歴

明治45年、西伯郡西伯町（現南部町）法勝寺生まれ。

昭和11年東京音楽学校（現東京芸術大学）卒業、昭和14年日本コロムビアに入社。プロデューサー兼ディレクターとして学校教材レコードの製作に従事する。

童謡協会設立にも尽力し、同協会理事を長年つとめるかたわら、子どもの音楽教育のために童謡・ピアノなどを教える。

童謡をはじめ数多く作曲しており、「西伯町歌」「西伯小学校校歌」等の作曲も手がけている。平成11年没。

主な作品

「ナコちゃん」（武鹿悦子 作詞）

「カバさんのあくび」（稲穂雅巳 作詞）

ほか

著作をご寄贈いただきました

「平成あまのじゃく-無宗教論-」 郁朋社

白石康雄さんより（南部町法勝寺在住）



宗教とはなにか？自然とはなにか？そして芸術とは？日本人の、そして自らの宗教観・宗教心の分析から始まり、自然や人との調和を語りかけるエッセイ。現代に生きるわたしたちへのメッセージが込められています。

分かりやすく歯切れのよい言葉で書かれており、^{かっつ}闊達な著者像までも浮かんでくるような一冊です。

